安全・安心の農産物を提供します

ＪＡ蒲郡市
農産物ガイド

Agricultural Products Guide

2026~



JA蒲郡市

新品種への取り組み

現在は、産地化品種としてはるみ・せとか・不知火（しらぬひ）・南津海のブランド化を実現してきました。
今後も品質重視を基本に、多様な消費者ニーズに応えるみかん産地として、将来へ向けた新品種の取り組みを進めているところです。また、試験品種として、ゆら早生（わせ）と北原早生（きたはらわせ）の栽培に取り組んでいます。

産地化品種



せとか　（清見×アンコール）×マーコット　出荷時期：1月上旬～3月上旬
果皮は橙色が濃く、表面が滑らかで、きれいな果実です。
皮がむきやすく内袋ごと食べることができ、コクのある味わいで食味が大変良好です。



はるみ　（清見×ポンカン）　出荷時期：1月中旬～3月上旬
はるみは果汁たっぷりで甘くて濃厚な味です。皮がむきやすく内袋も柔らかいため袋ごと食べられるのが特徴です。



南津海（なつみ）　（カラマンダリン×吉浦ポンカン）　出荷時期：4月
南津海は、袋ごと食べられる飛び抜けた甘さが特徴です。
『甘い』『むきやすい』『食べやすい』と3拍子が揃った美味しさです。

試験品種



ゆら早生（わせ）　出荷時期：10月
極早生みかんの中でも甘みが強く、果汁も多い品種です。外観は緑色が残っていても、中の実は内袋もやわらかく食べやすいです。



北原早生（きたはらわせ）　出荷時期：10月中旬～10月下旬
他の早生みかんよりも、成熟時期が早いにも関わらず、果汁と甘みたっぷりの品種です。

蒲郡と言えば「みかん」を連想するほど、ブランドは、地域に浸透しています。平成20年には特許庁が認可する地域団体商標（地域ブランド）に『蒲郡みかん』が登録され、地域のシンボルとなりました。
また、平成22年3月には、長年にわたる創意工夫を通じて、意欲的に先駆的技術を導入し、経営や産地が一体となって、良質で安全な農産物作りの取り組みに、集団組織の部において第39回日本農業賞大賞を受賞いたしました。

蒲郡みかんを
YouTubeの動画で紹介しています

蒲郡
みかん
商標登録　第5140387号



第39回日本農業賞大賞受賞



▶露地みかん



蒲郡は、降雪・降霜日数が少なく温暖なことと、冬季の日照量が豊富なこと、また山と海に囲まれた地域で、山麓から海までの距離が短く、全体に緩やかな傾斜を持った扇状地であるため、降雨は速やかに排出されて、糖度の高いみかん生産に適しています。



『箱入娘』は、みかんの樹の下に、白いシートを敷き、余分な水分を入れないことにより、糖度を高くする「マルチ栽培」で、園地の中から、味の良い果実を厳選して収穫したみかんです。皮が薄く、中身がしっかりして、甘さがたっぷり。内袋がとろけるような食味が特徴です。



『青島みかん』 １月上旬から２月中旬まで出荷をしています。
『青島みかん』は、早生に比べひとまわり大きく扁平な形が特徴です。
風味が濃厚で糖度が高く、味にコクがある味わい豊かなみかんです。



4月上旬～5月上旬にはハウスの中で出荷直前まで樹上で栽培される『樹熟デコポン® 』を出荷しています。
樹熟デコポン® は抜群の甘さと適度な酸味が調和し、内袋の柔らかさが相まってとろける旨さが感じられます。まさに“デコポン本物”の美味しさです。



蒲郡みかん

蒲郡では、一年を通してみかんを出荷しています。春から初秋にかけては、『蒲郡温室みかん』が出荷の中心です。秋から初冬にかけては、『早生みかん』を中心とした、露地みかんが主体となり、マルチ栽培の登録園地で栽培する糖度の高い特選品として『箱入娘』と名付けてブランド化し、年末の贈答用に人気です。

色と大きさを測定するカメラ・光センサーによる選果システム

色と大きさを測定するカメラと糖度と酸度を測定する光センサーによる選果システムにより、バラつきのない出荷に努めています。



種類	温室みかん	露地みかん
戸数	74戸	463戸
面積	22.3ha	236.8ha
出荷時期	4月中旬～9月中旬	9月下旬～5月上旬
令和６年度販売取扱高	1,136百万円	2,160百万円
令和６年度販売数量	1,162t	6,051t



▶温室みかん

ハウスみかん栽培を開始したのは昭和48年です。

『蒲郡温室みかん』の特徴は、糖度と酸度のバランスが良く、味にコクがあります。じょうのう（うち袋）が柔らかく、袋ごと食べられ、食味（口当たり）がとても良いです。

絹肌みかんと呼ばれるほど果皮が薄くなめらかで、色も紅が濃く鮮やかです。誰でも簡単に皮を剥くことができます。



蒲郡温室みかんのこだわり！

●着果管理

●温度管理・かん水管理の徹底

●環境にやさしい

生物農薬の活用による化学農薬の削減
※天敵の捕食性昆虫による害虫駆除
さらに、ICT技術を活用した栽培にも取り組み、よりおいしいみかんを目指しています。



いちご



サンベリー蒲郡


章姫


ゆめのか

平成４年に蒲郡市農協苺部会（愛称：サンベリー蒲郡）が発足し、令和６年現在の部会戸数は37戸です。
高設栽培が年々増え、現在栽培面積の８割強(施設数では130施設以上)で、章姫・ゆめのかの２品種が栽培されています。
平成14年度から平成21年度までと、平成28年度および令和４年度に愛知県いちご品評会における団体賞（愛知県知事賞）を受賞しました。また、令和元年に名古屋市から優良産地表彰を受けました。

収穫の翌日に店頭に並ぶ

朝に収穫し、その日の午後にパック詰めを行います。そして夕方にはＪＡの総合集出荷場から青果市場に出荷されます。収穫翌日の朝、スーパーなどに並ぶので新鮮そのもの。産地の美味しさをそのまま味わうことができます。

軸付き苺

業務用等の一部の出荷を除き、苺の軸を付けて収穫・出荷します。その理由は、収穫やパック詰めの時に果実に触らないようにして、消費者の方に少しでも新鮮な苺を食べていただきたいからです。

ラップのロット番号印字

食の安全・安心に対する関心が高まる中、平成23年からパックごとに生産者の識別が可能となるロット番号を記載したイチゴを出荷しています。各生産者が安全・安心に対して責任を持ち、イチゴを栽培しています。

通いコンテナ

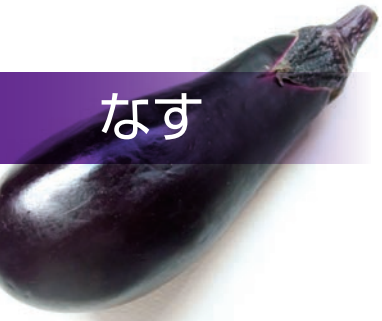
通いコンテナでの出荷は、従来の段ボール出荷に比べ、組立て時間が軽減されたことにより、生産者の作業時間の省力化になっています。また、費用削減にもつながるほか、品質維持、ゴミの削減にも取り組み、クリスマス以降の出荷は、全量コンテナ出荷にしています。



品種特性

章姫　　：大玉果で酸が低いため食味が良く、果肉は柔らかい。
ゆめのか　：果汁が豊富でとてもジューシー、糖・酸のバランスが良くさわやかな食味。

部会員数	栽培面積	出荷時期	出荷市場
37名	11.61ha （章姫：10.45ha） （ゆめのか：1.16ha）	10月下旬～ 6月下旬まで	名古屋北部市場内 セントライ青果㈱
令和６年度販売取扱高	828百万円		
令和６年度販売数量	572t（2,288千パック）		



なす



平成22年より市場向け出荷がはじまりました。平成30年3月に『ナス部会』が発足し、令和６年現在８戸の部会員が出荷をしています。
朝収穫したナスを昼に梱包し、出荷場へ集めます。夕方には市場に到着し、翌朝にはスーパーに並ぶ新鮮なナスです。

部会員数	栽培面積	栽培品種	出荷時期	主な出荷先市場
8戸	0.7ha	筑陽	6月中旬～ 10月下旬	愛知県中央青果㈱



アスパラガス



平成19年より出荷が始まりました。
平成24年3月に『アスパラガス部会』が発足し、個人での出荷・販売体制から共同出荷・販売体制に移行し、ハウス栽培で高品質なアスパラガスを出荷しています。

部会員数	栽培面積	栽培品種	出荷時期	主な出荷先市場
8戸	1.6ha	ウェルカム ヨーデル ガリバー	2月中旬～ 11月上旬	名古屋北部市場内 セントライ青果㈱

地産地消とは…地元で生産された農産物を地元で消費することです。

地産地消の５つの魅力

- 新鮮な農産物が手に入る。
- 旬の農産物（おいしくて栄養価が高い）を味わえる。
- 誰がどのように作ったのか食品についての情報を得やすい。食の安全性も守られる。
- 地元の産業（農業）を守ることにつながる。
- 食品の輸送距離が短いため、環境にも優しい。

農産物出荷時期カレンダー

品　目	出荷時期
温室みかん	4月中旬～9月中旬
早　生	11月上旬～1月上旬
箱入娘	11月下旬～12月中旬
青　島	1月上旬～2月上旬
せとか	1月上旬～3月上旬
はるみ	1月中旬～3月上旬
樹熟デコポン®	4月上旬～5月上旬
南津海	4月
ゆら早生	9月下旬～10月中旬
北原早生	10月中旬～10月下旬

品　目	出荷時期
キウイ	1月中旬～2月上旬
イチゴ	10月下旬～6月下旬
アスパラガス	2月中旬～11月上旬
ブルーベリー	3月中旬～8月上旬
シャインマスカット	7月下旬～8月下旬
な　す	6月中旬～10月下旬



安全・安心な農産物

ＪＡ蒲郡市では、安全・安心な農産物の供給に取り組んでいます。

◎関係機関と連携し、生産される農産物の安全確保に取り組む
◎消費者相談、取引先対応を的確かつ十分に行う
◎「安全・安心な農産物生産基準」を作成して組合員に周知徹底し、栽培体系ごとの生産履歴の記帳を義務付けている

GAP -ギャップ-（Good Agricultural Practice）

農産物の安全を確保し、より良い農業経営を実現する取り組みを推奨します。

■食品安全－異物混入の防止、農薬の適正使用と保管　など
■環境保全－適切な施肥、土壌侵食の防止、廃棄物の適正処理　など
■労働安全－整理整頓、備品整備、作業場保全　など
■人権保護－労働者の働きやすい環境整備、法令遵守　など
■農場経営管理－圃場や資材管理、担当者の明確化　など

従来の生産工程管理や栽培日誌、農薬の適正利用や残留農薬調査など安全な農産物を出荷する体制をより明確化していきます。

JA蒲郡市
〒443-0007　愛知県蒲郡市神ノ郷名取15
TEL(0533)68-7206
FAX(0533)68-6082
URL https://www.ja-gamagori.or.jp/

instagram
instagram.com/ja.gamagorishi/

GREEN PRINTING JFPI
P-B10207
この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。

2025.10